



12月号

令和4年12月23日  
六ツ美中部小学校

## 常に心動いた 充実の2学期



しかし子供たちの二学期は本当に充実し、常に心は動いていました。ドキドキしながらも球技大会やコンクールに燃え、学習発表会では緊張の中でも工夫して役を演じ、演奏しました。心臓バクバクのマラソン大会では気合を入れ、目標の順位やタイムを目指して努力を重ねました。そして日頃の授業では、時にワクワクしながら新しい知識や技能を着実に獲得するなど、わずかこの四か月間で心身ともに大きく成長したと私は実感しています。

大人はしつける立場、指導する立場として、子供を下に見てしまいがちです。でも、子供と同じように目標や目的をもち、トキメキを感じながら生活する工夫も必要でしょう。私たちも子供と共に成長し、常にアップデートしようという意識でないと、たちまち叱られてしまいそうです。

〇〇ちゃんに叱られないよう  
校長 夏目弘之

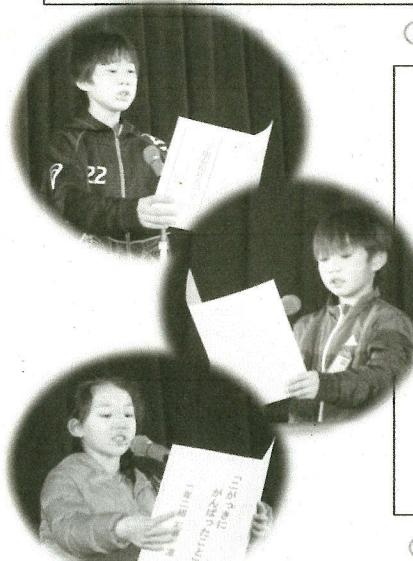
五歳の女の子がゲストの大人に素朴な疑問を聞いてしまうというNHKの番組があります。私は結構好きで、よく見ていました。以前、「こんな質問がありました。「大人になると、あつという間に一年が過ぎてしまうのはなぜ?」」という疑問。解答者は的を射た答えが言えず、いつものように思い切り叱られてしました。彼女の答えは、「人生にトキメキがなくなつたから」でした。時間の感じ方はいろいろな出来事において、心がどのくらい動いていたかによると解説していました。子供の頃は初めて体験することが多く、そのたびにトキメキを感じるから時間が長く感じられ、一方大人になると、生活の中にトキメキを感じることが少なくなり、時間が短く感じられるのだそうです。私は、なるほど、と思ったのと同時に、今の自分はだめだと大反省しました。毎回毎回同じことだからと、二度とない日々を心が動くこともなく過ごすのはもつたないので、少しでも意識を変えて行動したいと思いました。

2学期にがんばったこと。(代表児童による終業式の発表から)

二学期をふり返つて

六年二組 松井 壮太

ことは二つあります。一つ目は、学習発表会です。ぼくのクラスは、「一学期に入つてすぐに、学級閉鎖になつてしましました。学校が再開したときには、勉強も学習発表会のことを、他のクラスより一步出澤と、他に決めました。劇の題名や配役、せりふを話し合つて決め、自分たちで台本をつくる練習もみんなで協力して進めました。合唱の練習では、先生方にアドバイスをもらい、くり返し歌いました。とても苦労しましたが、学習発表会を成功させることができました。二つ目は、「マラソン大会です。昨年のタイムは、四分四秒とぎりぎり三分台ではありませんでした。一年生から五年生までずつと一位で、「今年こそは」と思い、毎日家に帰つたらランニングをしました。学校でも、毎日のかけ足運動を時間の限り全力で走りました。そしてむかえた本番、練習の成果もあって、去年より楽に走ることができました。結果は二位でした。三学期は、六年生のみんなが引つ張つていけるよう、授業と自主学習を二学期以上にがんばつていきたいです。



次に、マラソン大会をがんばりました。ぼくは二年生のときよりもうのためには、帰った後にまたたくさん走りました。当日は風が強くて寒かったですけど、さいごまで走りました。目ひょうもたつできたのでうれしかったです。

三学期は書き初め大会で、字をいいねいに書くことをがんばりました。ぼくは習字を習つていいのです。上手に書けないかもしいなうないけれど、マラソン大会のときによくたくさん練習してがんばります。

二が二きにがんば(いた)と

校内マラソン大会 12月1日



○マラソン大会各学年優勝者○  
【一年】 石井 凜・榎田 弦生

【一年】	石井	凜	・	木田	弦生
(新記録)	(新記録)				
【二年】	藤井	結衣花	・	志賀	晴友
(新記録)	(新記録)				
【三年】	杉浦	珠里	・	磯村	出海
(新記録)	(新記録)				
【四年】	一里塚詩織	・	清水	瑛斗	
(新記録)	(新記録)				
【五年】	山口	珠実	・	西堂	慶斗
(新記録)	(新記録)				

## ◆一月の予定◆

十一日（水）給食開始  
避難訓練

(十一)のルルカゼ)

二十五日(水) るの会  
一十七日(金) 校内書き初め展  
三十日(月) 五時間授業  
授業参観  
一四二五五一斎下校

良  
お年を

1月